

第6回 春日山原始林保全計画検討委員会 議事要旨

日 時：平成27年6月8日(月) 午後1時00分～午後3時00分

場 所：奈良経済倶楽部 5階 大会議室

出席者：副委員長 山倉 拓夫

委 員 川瀬 浩、佐野 純子、田中 和博、前迫 ゆり、松井 淳

オブザーバー 文化庁記念物課 本間主任文化財調査官

春日大社、春日山原始林を未来へつなぐ会

事 務 局 奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局奈良公園室

関 係 部 局 《 奈 良 県 》 景 観 ・ 自 然 環 境 課、 森 林 整 備 課、

森林技術センター、奈良公園事務所、

文化財保存課

《 関 係 機 関 》 林 野 庁 奈 良 森 林 管 理 事 務 所、

奈良市景観課、奈良市文化財課

議題 (1) 春日山原始林保全事業の進捗状況について

(2) 春日山原始林保全計画について

議事要旨

(1) 春日山原始林保全事業の進捗状況について

- ・ナンキンハゼの駆除、ナギの数量調整、ナラ枯れの対策等、今後の取り組みの進め方について、有識者、活動団体も含めて、その詳細を検討できる体制を構築する必要がある。
- ・上記の直面している問題に対応するため、意見交換会を開催する。

(2) 春日山原始林保全計画について

- ・ナギの歴史的背景に配慮した取り組み、ナラ枯れの対策等、保全事業に理解を得るためにも情報発信により力を入れるべきである。
- ・それに併せて、検討委員会における議論のプロセスをしっかりと情報発信して、県民が保全事業を実施している背景についても理解を促す必要がある。
- ・保全計画の策定に至った背景等、保存管理計画の骨子を参考に、計画の構成をわかりやすく理念を提示する必要がある。
- ・植生保護柵による保全面積をどう定めるのか、春日山原始林の歴史背景や現状と課題を踏まえた検討が必要である。
- ・シカの動態を踏まえた保全面積など、シカとの関わりも踏まえた計画内容の充実が必要である。